

キャリアアッププログラム2024（3学期）講座シラバス

【ベーシック科目】

科目名	ローカルエンタメビジネスの基礎	
副題	広島（地域）の未来を拓くローカル IP（知的財産権）ビジネスの可能性	
受講対象者	地域において、スポーツや芸能、アート等広くコンテンツ産業に関わる方、それをサポートしている行政関係者、メディアに携わる方等広くローカルコンテンツの今後について関心をもっていらっしゃる方を対象とします。	
講座概要	YouTube マネタイズの本格化など、大きく変貌しつつある知的財産権（主として著作権）ビジネスについて、現状と今後について概観し、知的財産権ビジネスのベンチマークともいえるディズニーのビジネスを紹介。地域がグローバルとつながって、独自のエンタメビジネスを展開できる可能性を探るなど、地域における知的財産権ビジネスの今後に関する独自視点醸成を図ります。	
到達目標	知的財産権ビジネスの現状に関する基礎的な理解と、大きく変貌しつつある知的財産権ビジネスの今後に関する個人的な視点の獲得し、地域における個人の役割について認識を深める。	
講義計画	第1回	出版ビジネス・音楽ビジネスの現状と今後について
	第2回	出版ビジネス・新聞ビジネス・音楽ビジネスの現状と今後について
	第3回	映像ビジネス(映画・放送・動画配信)の現状と今後について
	第4回	商品化ビジネス・ゲームビジネス・IPビジネスミックスの現状と今後について
	第5回	知的財産権ビジネス視点で見るディズニー
	第6回	ローカルエンタメビジネスの可能性(私案の提示)
講義の形式	座学中心で実施します。	
講義方法	対面講座 ※新型コロナウイルス感染症感染状況により中止となる場合があります。	
講義の進め方	毎回、講義の後、質疑応答。最終回にて個人作業行いレポート提出を求めます。	
教材などの追加負担	教材の負担はありません。	
受講者へのメッセージ	アメリカで先行した YouTube マネタイズもいよいよ日本で本格化の兆しが見えてきました。地域に根差したスポーツビジネスや芸能、アートといったコンテンツは、今後グローバルマーケット開発できる可能性が十分あります。そうした意識をもって、その可能性と一緒に検討していきましょう。	
講師紹介	<p>井上英之（いのうえ ひでゆき）メディアビジネス学科 教授</p> <p>1958年広島県広島市生。京都大学法学部卒。1981年(株)博報堂入社。博報堂を皮切りに、さまざまな事業母体で、国際博覧会・WEB リサーチ・出版・キャラクタービジネス・動画配信等知的財産権を活用したメディアビジネスの企画・プロデュースを経験。2013年広島にUターン。2015年～2020年まで広島県地域力創造アドバイザーとして、広島県の定住促進施策に携わる。「地域課題をメディアビジネス的に解決する」人材の育成、事業の構築を目指している。</p>	